

ぽっかぽか通心

2016/1/10 新春号

- 1、新年ご挨拶
 - 2、松下幸之助1日1話
 - 3、動画で解説シリーズを充実
 - 4、お客様の声～ありがとうございます～
 - 5、知って得するお役立ち情報
 - ①「団体契約でおトクに保険へ加入する」
 - ②「株価の傾きに最も影響を与えるものとは」
 - 6、編集後記
- おすすめ本「マーケット感覚を身につけよう」



1、新年ご挨拶

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと存じます。2016年が「日本が21世紀の新型超大国になる第一歩を踏み出す年」また、「皆様が健やかで幸せいっぱい
の年・飛躍の年」となりますようにお祈りしております。



さて、私が事務所を独立開業したのが2007年1月5日ですので、早いもので丸9年が経過し今年で10年目に突入しました。これもひとえにいつも支えていただいている皆様のおかげであると本当に感謝しております。事務所理念である「報恩感謝」（日々生かされていることに感謝し、身を粉にして社会貢献すること）の気持ちを忘れず日々精進していきますので、今後とも末永いお付き合いの程、よろしく
お願い致します。

また、3年前から始めた「全国一の宮めぐり」（＝北海道から沖縄まで諸国において社格が最上位の神社101社を巡ること、例えば摂津国一の宮は住吉大社）ですが、現在43社参拝することができています。あと5年ほど時間がかかるかもしれませんが、「清く明るい素直な心」となるため、諸国の歴史や風土を感じとる貴重な体験を得るため、少しずつ一の宮神社を巡っていきたいと思っています。

2、松下幸之助 1日1話

大変好評な松下幸之助先生の1日1話。(PHP研究所:刊)

今回のお話も経営者の方は勿論、サラリーマンの方、主婦の方も参考になる点があると思いますので、一度読んでみて下さいね。

「 自他相愛の精神 」

個人と個人との争い、国と国との争いは、相手を傷つけ、さらには社会全体、世界全体を混乱させる。そういう争いの大きな原因は、自他相愛の精神というか、自分を愛するように他人を愛し、自国を愛するように他国を愛する精神の欠如によるものであろう。

そういう精神の大切さは昔からいろいろな教えによって説かれていながら、いまだに争い事が絶えないのは、人々がこのことの大切さを真に悟っておらず、その精神に徹していないからだと思う。

争いはみずからをも傷つけるということを身をもって知り、人類に平和をもたらすために力を合わせていくことが肝要である。

3、動画で解説シリーズを充実

ライフプランやお金に関して短時間で簡単に考え方をお伝えしている『動画で解説シリーズ』(ユーチューブに動画をアップし私のHPにも掲載)ですが、現在62本の動画を掲載し、のべ再生回数は46,000回を超えています。ここ数か月で、下記8本を新規で追加掲載しましたので、ご興味ある項目から視聴していただければと思います。勿論、無料です。

《 FP (ファイナンシャルプランナー) の選び方 》	2分45秒
《 資産運用相談Q&A 1 投資信託 》	2分47秒
《 給付型奨学金 》	2分47秒
《 米国株への投資 連続増配記録 》	2分 2秒
《 住宅ローン相談Q&A 2 繰上げ返済 》	1分37秒
《 住宅ローン相談Q&A 1 固定金利 vs 変動金利 》	1分15秒
《 保険見直し相談Q&A 2 学資保険 》	1分29秒
《 保険見直し相談Q&A 1 保険加入の必要性 》	1分30秒

今後も新規動画を月数本のペースでアップしていきますので、楽しみにお待ちください。

4、お客様の声～ありがとうございます～

F P個別相談をご利用され、株式投資ベーシックセミナー・四季報セミナーにご参加されたお客様の声（大阪府堺市在住50代女性）

「日経新聞の読み方」セミナーに参加した娘が「株式投資ベーシックセミナー」のチラシを持ち帰ったのが長谷さんとの出会いのきっかけでした。

肩書はF P。F P＝「住宅ローンの相談や保険の見直しの専門家」というイメージだったので「F Pが株式投資？」という感じだったのですが、『100万円が3億9千万円に！～損をしない・間違えない・ダメされないための株式投資をマスターしよう～』というコピーに惹かれてセミナーを受講。キャッチーなコピーとは裏腹にセミナーの内容は、実体験も織り込んだ、吟味して時間を味方につける投資の保守本道。F Pとしての長谷さんの堅実さを物語るものでした。

F Pとして独立系であること、考え方の堅実さを実感し、漠然とした不安は抱きつつも「必要なものは致し方ない」と放漫経営を放置してきた家計に向き合うべく個別相談を決意。近頃、マスコミで取り上げられるようになった「老後難民」・「貧困老人」という事態を回避するには・・・？「分かっちゃいるけど」のポイントをビシッと指摘され、「ああ、やっぱり」。凹んでいると「済んだことはいいじゃないですか。これから頑張ればいいんです。」「意識するだけで変わりますよ。」と励ましていただきました。

以前のように、「お金の話は憚られる」では、貨幣経済の中で生活していくことはますます困難になっていくでしょう。その様な中で、お金に関するメンターとして長谷さんと出会えたことは幸運でした。これからもよろしくお願い致します。

F P長谷剛史からのメッセージ

本当にお忙しい中、嬉しいメッセージをいただきありがとうございます♪感謝しております。お金に関するメンターと思っただけのことを、大変嬉しく思っています。日々精進しますので、今後とも末永いお付き合いの程、よろしくお願い致します。

5、知って得するお役立ち情報

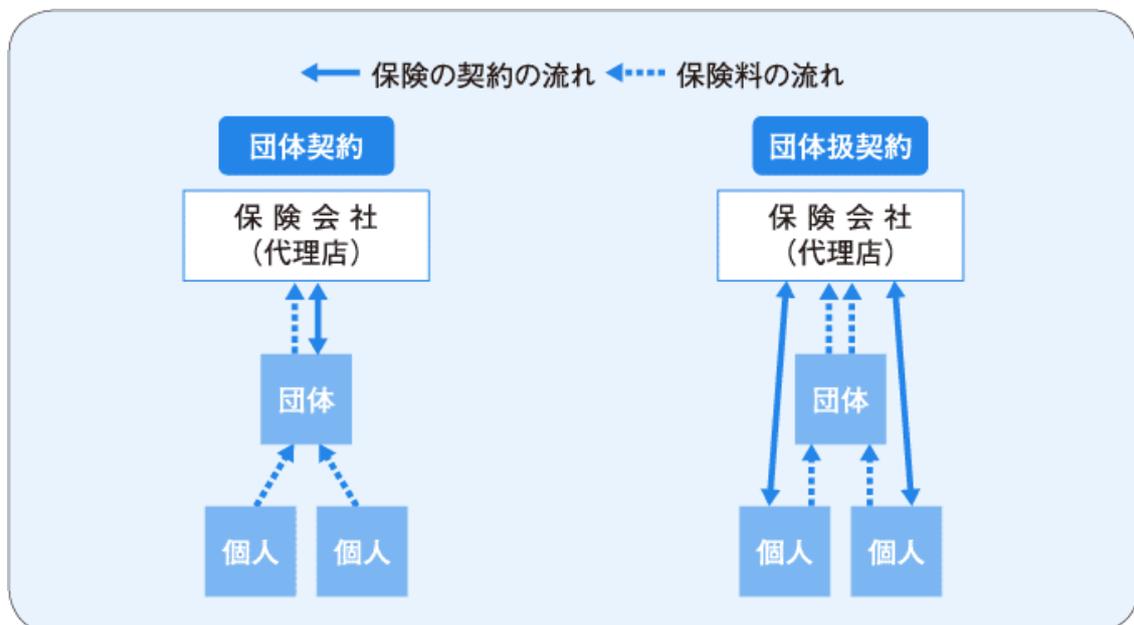
① <団体契約でおトクに保険へ加入する>

そもそも団体契約とはどのような仕組みなのか？なにがお得なのか？わかりにくいですね。今回は団体契約の意味やメリット、一般的に取り扱っている場合が多いお得な団体契約の保険をご紹介します。

<団体契約>

団体契約とは下図左側のように個人ではなく団体が契約者となり、従業員やその家族を被保険者（保険の対象となる方）とする契約のことを言います。保険期間は加入者全員一律となり、契約者が団体になるため保険証券は1通のみしか発行されません。そして、**団体契約の一番のメリットは、規模を活かした団体割引の適用による保険料の割安さになります。**

また、団体契約と似たような名前で団体扱契約というものがあります。下図右側のように団体の従業員それぞれが契約者となり保険に加入し、保険料は給与天引き等を利用し団体を通じて保険会社に支払う契約を言います。保険証券は契約者個人に発行され、契約期間もそれぞれ契約ごとに異なることとなります。



(日本損害保険協会HPより引用)

一般的に上場企業にお勤めの方や公務員の方は、職場で毎年1~2回パンフレットが配布されると思いますが、これがまさに団体契約の保険になります。ラインアップの中には、入院した場合の備えとして「医療保険」、様々な事故によるケガの補償が得られる「傷害保険」、病気やケガで就業不能となった場合に、その間の損失が補償される「所得補償保険」、ゴルフやスキーなどスポーツで第三者に損害賠償責任を負ったときや、スポーツ中のケガをしたときに備えられる「レジャー保険」、老後不安への対策として活かせる「年金保険」など、様々な保険が用意されているケースが多いです。保険種類によっては従業員の配偶者や家族も加入できますので、団体契約でご希望のリスク対策を行うことができます。

<まとめ>

民間保険にそれぞれ独自に加入するのもいいかもしれませんが、保険料が割安という魅力的なメリットがある団体契約をご家族全員で一度検討してみるのはいかがでしょうか？新規加入や保障増額時でも告知だけですみ、医師の審査が不要なものもメリットの一つに挙げることができます。

② <株価の傾きに最も影響を与えるものとは>

株式投資の王道は、会社四季報に掲載されている項目を理解し活用することです。今回は株価の傾きに最も影響を与えるものとは？ということで「ROE」・「株価のトレンド」についてみていくことにしましょう。

ROE（自己資本利益率）とは？

ROEとは、企業の投資効率の高さや成長率の高さを判断する指標になり、 $\text{利益} \div \text{自己資本} \times 100$ で計算します。投資効率が良く成長率が高い企業の株価は上がってきますので、ROEが高い企業を選択することが大切です。

例えば、2人の経営者に100万円投資することを考えてみましょう。

Aの経営者：年間20万円の利益を稼いでくれる

Bの経営者：年間5万円の利益を稼いでくれる

Aの経営者への投資効率は、 $20 \text{万円} \div 100 \text{万円} \times 100 = 20\%$ (ROE = 20%)

Bの経営者への投資効率は、 $5 \text{万円} \div 100 \text{万円} \times 100 = 5\%$ (ROE = 5%)

Aの経営者の方が経営能力が高くかつ投資効率が良いと判断することができます。**株式投資は、経営能力の高い優秀な経営者へ投資し、自分の代わりに稼いでもらうことです。つまり、株主の投資額を元手にどれだけ利益を生み出してくれるかが大切です。**

会社四季報には計算をしなくてもROEが掲載されていますので、例えば最新の四季報(2016年新春号)で自動車業界を確認してみましょう。トヨタ自動車は実績13.9%予想14.1%、日産自動車は実績10.0%予想11.3%、本田は実績7.7%予想7.5%です。同業他社と比較して水準が高いのはトヨタ自動車ですが、今期予想と前年実績を比較すると伸び率が高いのは日産自動車になります。**株価の傾きに最も影響を与えるのはROEになりますので、水準と毎年の推移を必ずチェックするようにしましょう。**

株価のトレンド(方向性)とは?

株価のトレンドとは株価の方向性のことで、①右肩上がり=上昇トレンド、②右肩下がり=下降トレンド、③方向性なしの3つがあります。会社四季報には、過去4年程度の株価の動きが掲載されていますので、株価の方向性を把握することができます。

3つのトレンドの内、どれを選択するのが良いのでしょうか? **投資対象として検討できるのは、①右肩上がり=上昇トレンドになります。**②は投資をしてもどこで下げ止まるのかわかりませんし、③は投資をしても株価が上がるのか下がるのか予想ができないため外した方が無難です。②を選択する方が多いですが考え方を考える必要があります。株価が下がり続けるには理由がありますし、そもそも株価に定価はありませんので昔に比べて株価が下がっているのが安いという判断は避ける方が懸命です。

また、株価のトレンドは、数年単位で比較的長く続く傾向があります。**少し株価が上がって利益確定するのではなく、トレンドが続く限りは所有した方が大きな利益を獲得できる可能性が高くなります。**

まとめ

「ROE」・「株価のトレンド」をチェックすることにより、今後の株価の傾きを予想することができます。つまり、**企業の規模やネームバリュー・メディアに流されるのではなく、この2つの指標で把握できますので、会社四季報で確認するようにしましょう。**

*上記は個別銘柄を推奨するものではなく、わかりやすく解説するため掲載したに過ぎませんのでご注意ください。

